

2023年10月27日

各 位

上場会社名 **ダイソーケミックス株式会社**
代 表 者 代表取締役 執行役員社長 住友 朱之助
(コード番号 4366 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 取締役 常務執行役員 南 修一
T E L (06)6911-9310 (代表)

取締役会の実効性評価結果の概要について

当社は、コーポレートガバナンスの向上に関する取組みの一環として、取締役会の実効性の評価を行いましたので、結果の概要をお知らせします。

1. 実効性評価の方法

各取締役および各監査役に対して取締役会の実効性に関する質問票を配布し、自己評価を実施いたしました。また、これに基づいて実効性評価と現状の課題の確認およびその対策等を中心とした議論を行いました。なお、自己評価の項目は以下のとおりです。

- ・取締役会の人数、人員構成
- ・取締役会の開催回数
- ・取締役会の議題、議案に関する資料の提示時期
- ・取締役会の審議時間
- ・取締役会の議題

2. 2022年度取締役会の実効性評価

当社が各取締役および各監査役に対して行った自己評価では、人員等に検討の余地があるが、取締役会における説明、報告、議論等は概ね適切であり、実効性評価は有効であると結論付けました。

3. 結果の概要

本実効性評価において挙げられた各項目について、以下のとおり議論を行いました。

(1) 取締役会の構成（人数、社外取締役人数）について

- ・2022年度取締役会の構成は、会社運営には支障がないが社外取締役の含め取締役の増員が必要と確認されました。

(2) 取締役会の運営

- ・開催頻度、審議時間、提出資料等は概ね適切と判断しました。
- ・引き続き、社外取締役、社外監査役が発言しやすい雰囲気づくりを議長が担ってまいります。

(3) 取締役会の議題

- ・企業戦略の方向性を示す議題等の重要な議題については、経営会議等における社内での議論内容やプロセスを含めた経営的・詳細な説明を社外取締役、社外監査役に対して実施し、取締役会の実効性改善に努めました。

4. 前回の取締役会評価結果を受けた取り組み

(1) 次世代の育成を取り組むべき課題と認識した運営について

- ・次世代社員の育成のための取締役会への参加の機会を設けることはできましたが、議論は十分でなく、更なる議論の活性化を目指して今後も継続して実施する必要性を確認しました。

(2) 経営戦略（計画、ビジョン、課題）について

- ・中期経営計画の修正の議論を通じて一定の審議はされましたが、今後更なる審議の活性化に繋がってまいります。

(3) 関連会社に関する事項について

- ・関連会社の審議を増加させましたが、議論は十分でなく、更なる議論の活性化を目指して今後も継続し実施する必要性を確認しました。

(4) サステナビリティに関する事項について

- ・審議は十分でなく、今後継続して実施する必要性を確認しました。

以上より、これら課題は今後も重要な議題と位置づけ、継続して取り組むことといたしました。

5. 当社取締役会としての課題やその他意見

取締役会の実効性に関する質問票の項目以外にも、自由なご意見をいただきました。当社は、今回の結果を踏まえ、取り組むべき課題および対応を通じて、今後とも取締役会の実効性向上に努め、より充実したコーポレートガバナンス体制の構築と更なる企業価値の向上を目指してまいります。

以 上